

# 常設委員会報告

## 総務委員会報告 委員長 阿部 暢夫

平成30年度の総務委員会は、下記の10名にて構成されています。

- 委員長：阿部 暢夫(富士開発株)
- 副委員長：加藤 信治(株松原工事事務所)
- 委員：西部 雅英(株ヨコタテック)
- 委員：広瀬 義純(株アサノ大成基礎エンジニアリング)
- 委員：真鍋 保幸(東海地質工学株)
- 委員：天木 亨(興亜開発株)
- 委員：藤山 直也(株フジヤマ)
- 委員：山本 貢司(東洋地研株)
- 委員：土屋 靖司(株富士和)
- 委員：近藤 拓己(不二総合コンサルタント株)

当委員会は、協会運営の全体の総括を担当しています。主な活動としては、

- イ)公正取引に関する法令遵守及び論理規定に関すること
    - ・独占禁止法遵守講習会の開催
  - ロ)新入会員の入会促進運動
  - ハ)地質調査の資格試験に関すること
    - ・地質調査技士等、資格検定試験の実施
    - ・地質調査技士受験対象者講習会の実施
    - ・登録更新講習会の実施
    - ・地質情報管理士資格検定試験
    - ・その他地質調査技士に関すること
  - ニ)四支部協議会の実施
  - ホ)会員相互の親睦会の実施
  - ヘ)その他協会運営に関すること
- 以下に主な活動報告を致します。

### ●親睦ボウリング大会

平成30年5月25日 星ヶ丘ボウル  
参加者 84名(19社)  
優勝者

- 団体 (株アオイテック)
- 個人男子 土質試験協同組合 松村 竜樹
- 個人女子 (株東海環境エンジニア 肥田真奈美)

### ●第53回地質調査技士資格検定試験

平成30年7月14日 愛知県青年会館

部門	受験者	合格者
現場調査	25	16
現場技術・管理	73	15
土壌・地下水汚染	5	3
応用地形判読士(1次)	7	0
地質情報管理士	5	0
計	115	34

### ●第55回地質調査技士受験者対象講習会

平成30年6月29日 ウイルあいち  
受講者 54名

### ●平成30年度コンプライアンス講習会

平成30年11月12日 名古屋ガーデンパレス  
受講者 267名 130社

講師  
公正取引委員会事務総局 中部事務所  
経済取引指導官 樋田 高文  
消費税転嫁対策調査室 主査 齋藤 誠誉  
名古屋国税局課税第二部 消費税課  
国税実査官 長峰 崇



コンプライアンス講習会実施状況

### ●平成30年度地質調査技士登録更新講習会

平成30年11月30日 名古屋国際会議場  
受講者 222名

### ●四支部協議会

平成30年9月14日  
中部協会と県協会(愛知・岐阜・三重・静岡)との四支部協議会を年一回実施し、中部協会との連携を密に協会の技術力、品格等の向上及び会員企業発展のため努力しています。

### ●新春賀詞交換会・麻雀大会

平成31年1月19日 麻雀「琥珀」  
参加者 28名(13社)  
優勝者 玉野総合コンサルタント株 大野 猛  
最後に、委員会活動に対してご理解並びにご尽力とご協力をいただいた各委員及び会員各位に心から感謝申し上げます。



## 研修委員会報告

委員長 大久保 卓

平成30年度の研修委員会のメンバーは以下の10名で構成されています。

委員長：大久保 卓(株大和地質)  
 副委員長：小川 博之(株アオイテック)  
 委員：都築 孝之(日本物理探査(株))  
 委員：中山 宏史(株総合開発調査)  
 委員：大出 彰宏(日特建設(株))  
 委員：中村 正和(株日さく)  
 委員：小笠原朋弘(株テイビー)  
 委員：高橋 将也(村木鑿泉探査(株))  
 委員：中野強一郎(株中野地質)  
 委員：大井 寿彦(株東日)

当委員会の本年度の活動内容は以下の通りです。

- イ) 協会員の技術向上のための技術研究会・講習会の開催
  - ロ) 現場見学会による研修会の開催(隔年実施予定)
  - ハ) 技術講習会としての新春技術者懇談会の開催
  - ニ) 女性技術者活躍推進座談会の開催
- 以下に主な活動について報告します。

### ●平成31年度 新春技術者懇談会

開催日時：平成31年1月31日(木)  
 会場：ホテル名古屋ガーデンパレス  
 主催：(一社)中部地質調査業協会  
 共催：中部土質試験協同組合  
 演題：「自然地下水調査法も必要性」  
 ～自然地下水のあるがままの姿を明らかに！～  
 講師：竹内 篤雄先生  
 参加者：44名

講演内容は、自然地下水が「どこに」「どのような」状態で存在しているか「あるがままの姿を明らかに」し、それが各種現象とどのような関係にあるかを解明する地下水調査法の工法等について関心度の高い内容でした。

講演後の懇談会にも出席者全員の方の参加により、竹内先生を囲んだ和やかな雰囲気の中で大変盛り上がりしました。



写真-1 新春技術者懇談会の状況



写真-2 竹内先生(講師)を囲んでの懇談会状況

### ●女性活躍推進座談会

開催日時：平成31年1月16日(水)  
 会場：ホテル名古屋ガーデンパレス  
 参加者：11名(WGメンバー含む)  
 議題：「女性の働きやすい環境づくり」

議題に沿って座談会(ワールドカフェ方式)にて意見交換を実施し、多くの人との繋がりや多様な知識の共有、そして緊張せずに気軽に発言することができ、参加者全員満足で大変盛り上がりしました。

参加されました女性の皆様、更に各社の代表者の皆様の御理解、御協力に心より感謝申し上げます。本年度もWGメンバーを中心に、一人でも多くの方に参加していただきます様努力をしていきます。



写真-3 座談会の状況

最後になりますが、委員会活動に対してご尽力並びにご協力いただいた各委員、女性技術者WGのメンバー及び会員各位に心から感謝申し上げます。

## 広報委員会報告

### 委員長 西岡 吉彦

平成30年度の広報委員会は、委員長・副委員長をはじめ、以下の11名のメンバーで構成されています。

- 委員長：西岡 吉彦(川崎地質株)  
 副委員長：松浦 好樹(株ジーベック)  
 委員：森 理(協和地研株)  
 委員：亀谷 祐幸(大和探査技術株)  
 委員：佐藤 安英(株中部ウエルポーリング)  
 委員：佐橋 鋭昭(株テイコク)  
 委員：藤本 義裕(株東建ジオテック)  
 委員：狩野 行宏(株中日本コンサルタント)  
 委員：服部 剛明(服部エンジニア株)  
 委員：堀内 律輝(復建調査設計株)  
 委員：松本 正博(株増田地質工業)  
 (委員の順番は会社名頭文字のあいうえお順)

本年度の広報委員会活動方針は、平成30年度通常総会で承認されました以下の7項目です。

- (イ)発注者に対する広報活動  
 (ロ)中部地方整備局との意見交換会の実施  
 (ハ)発注者側からの積算等の依頼に対する応答  
 (ニ)全地連積算委員との連携  
 (ホ)「地質と調査」等、全地連刊行物の配布先の検討及び配布  
 (ヘ)改訂版積算資料の広報宣伝活動  
 (ト)広報活動での「土と岩」の配布

以下に、主な活動について報告します。

### ●発注者に対する広報活動

発注者に対する広報活動は、理事長、副理事長、委員及び理事会のご協力を頂き、8班編成で6月下旬～7月にかけて実施しました。

訪問先は、中部協会の広報委員会が愛知、岐阜、三重、静岡及び長野県南部に所在する一次官庁及び独立行政法人を担当し、愛知県協会、岐阜県協会、三重県協会、静岡県協会が各県及び市町村を担当しました。

本年度の配布物は、以下の通りです。

- ・理事長挨拶状
- ・協会員名簿
- ・機関誌「土と岩」66号
- ・全地連PR誌：日本ってどんな国
- ・防災協定の写し

「土と岩」は中部協会の機関誌として長年にわたり受け継がれてきました。

今回配布した協会誌66号は、「メンテナンス」をテーマに特集を組んだものです。メンテナンスは社会資本の長寿命化を進めていく上で、今後ますます重要となる事項です。本誌では、その道の有識者や専門家の皆様に各構造物のメンテナンスの進め方、取り組み、技術的な動向等多岐にわたった内容を執筆していただき、読み応えのある内容となっています。また、同号には特別寄稿「三重大学地域圏防災・減災研究センター」の活動紹介や散文「徳川美術館 尾張徳川家の至宝」の紹介等盛りだくさんの内容を掲載しています。配布先では、協会誌の完成度の高さに多くの方々が感心され、技術資料としても価値が高いとお声を頂戴し、各所で各部署の皆様方にも回覧するとのお約束を頂きました。

同号には平成29年10月31日に国土交通省中部地方整備局と行った「平成29年度中部地区における地質調査業に関する意見交換会」の様態も報告しています。

広報活動の際に各発注者へ配布しました全地連PR誌「日本ってどんな国」は、今年度は「地震を知って身を守ろう」をテーマにしたものです。最近、日本列島は、立て続けに大きな地震に見舞われました。この小冊子では、地震についての基礎知識、地震による被害、地震の調べ方、そして、地震から身を守る方法について、わかりやすくご紹介しています。

地質調査の重要性について、各発注者の理解は、年々、高くなってきています。また、長年に亘る広報活動等の結果、中部協会の認知度も高くなっており、突然の訪問にも拘わらず各発注者には快く対応して頂き、ここに、紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

### ●中部地方整備局との意見交換会

国土交通省中部地方整備局との「平成30年度中部地区に於ける地質調査業に関する意見交換会」は、意見交換会の内容を発注等に活かしてもらえるように、今年度もできるだけ早期に開催できるように取り組み、昨年度と同日の平成30年10月31日に桜華会館にて開催し、整備局より貴重なご意見を賜りました。その様態は本誌でご報告していますので、是非ともご覧ください。

### ●委員会の取り組み

広報委員会は、今後ますます(一社)中部地質調査業協会・地質調査業の更なる地位向上を目指し、発注者に対する広報活動や意見交換会等を実施してゆく所存です。重ねてご発注者及び協会員皆様のご協力をお願いします。

## 技術委員会報告

委員長 法安 章二

平成30年度は、ミニフォーラムの企画・開催や学会行事への共催、協力を主な活動としてきました。

今年度のメンバーは、以下の9名です。

委員長：法安 章二(玉野総合コンサルタント(株))  
 副委員長：中平 啓二(株)ダイヤコンサルタント)  
 委員：浅川 実(日本エルダルト(株))  
 委員：片岡 泰(株)キンキ地質センター)  
 委員：草野 善彦(株)岐阜ソイルコンサルタント)  
 委員：小西 純一(サンコーコンサルタント(株))  
 委員：高橋 幸伸(東海ジオテック(株))  
 委員：土屋 国彦(土屋産業(株))  
 委員：由井 恒彦(松阪鑿泉(株))

主な技術委員会活動は、以下の通りです。

- (イ) 会員各社の技術向上を目的とした技術研究の促進
  - ・「中部ミニフォーラム2018」企画・開催(H30.10.12)
- (ロ) 地盤工学会中部支部、日本応用地質学会中部支部等の諸行事への共催、事業協力
  - ・「地盤調査ボーリング作業見学会」の開催(H30.4.27)
  - ・岐阜豪雨災害調査団への参加(H30.8.1, 6, 20, 27)
- (ハ) 全地連が主催する講習会の開催支援
- (ニ) 地質調査関連講習会への講師派遣

### ●地盤調査ボーリング作業・物理探査見学会

地盤工学会中部支部主催の「地盤調査ボーリング作業・物理探査～室内土質試験見学会」に中部土質試験協同組合と共催の形で毎年実施しております。

技術委員会は、ボーリングマシンを使用しての現場作業、原位置試験等の実作業や物理探査作業を見学する場を提供しています。また、ボーリング用ツールズについても各種展示しました。

参加者は60名で、地質調査会社、コンサルタント会社、建設会社、学生などで、協会員各社からの参加は29名でした。



ボーリング作業

物理探査

### ●中部ミニフォーラム2018

名古屋国際会議場で開催し、84名と多くの方の参加を賜りました。

今年度も12名と多くの技術者が発表し、その後発表内容に対しての意見交換の場を設け、各セッションの終了時に座長が簡単な講評をまとめました。限られた時間の中で、経験豊富な技術者からのアドバイスや意見交換ができ、非常に有意義で密度の濃い知識の集積を計ることができました。

また、特別企画として、諏訪誠二氏に多様な経験を踏まえた講演を頂きました

優秀論文発表者は、論文及び発表審査の結果、下記の2名の方に決定しました。

- ・「レベル2地震動における海岸堤防の耐震検討事例」蔵座拓磨氏(株)ダイヤコンサルタント)
- ・「サンプリングチューブ内の試験位置による一軸圧縮試験結果に関する一考察」松村竜樹氏(中部土質試験協同組合)



中部ミニフォーラム2018 発表会場

### ●岐阜豪雨災害調査団への参加

6/28～7/8の短時間集中豪雨により、岐阜県内の各所に発生した土砂災害に対して、4学会で結成された合同災害調査団に参加しました。調査団員は延べ55名で、当協会からは19名の方が参加しました。

このほか、地盤工学会中部支部および日本応用地質学会中部支部等の諸行事への共催、並びに後援等の協力については、以下の通りです。

- 日本応用地質学会中部支部
  - ・平成30年度 技術交流会(H30.6.22)
- 地盤工学会中部支部
  - ・第27回 調査・設計・施工技術報告会(H.30.6.29)
  - ・第30回中部地盤工学シンポジウム(H30.8.6)

# 防災委員会報告

委員長 武藤 英教

平成30年度のメンバーは以下の7名です。

- 委員長：武藤 英教(青葉工業株)
- 副委員長：澤田 哲郎(株朝日土質設計コンサルタント)
- 委員：澤田 茂(株興栄コンサルタント)
- 委員：小川 晴彦(東海テクノス株)
- 委員：黒田 了介(株グランドリサーチ)
- 委員：齋 秀(株東海建設コンサルタント)
- 委員：岡野 直次(株ランドテクト)

本年度の委員会の活動内容は以下のとおりです。

- 1) 中部地整との災害協定に基づく、事業者リストの更新作業
- 2) 「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」の構成員として、国・自治体主催の防災訓練に参加
- 3) 地盤工学会中部支部との災害時相互協定締結協議
- 4) 震度6弱の地震を想定した防災訓練の企画・実施

## ●事業者リストの更新作業

中部地整との災害協定に基づき事業者リストの更新作業を行いました。今年度は、登録協会員59社、本店・支店・営業所を合わせて計94事業所が登録され、登録派遣人員数は488名となっています。

## ●国・自治体主催の防災訓練への参加

H30.5.27(日)に木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練に出席し、災害対策車両の見学や、ドローンを使った災害現場の撮影技術の説明に参加しました。

H30.11.3(土)に中部地整・三重県が主催する「大規模津波防災総合訓練」の展示ブースに参加し、液状化装置を使用しての体験学習や、三重県地質図のパネルや、濃尾平野の地質断面図を掲載し、地域住民に対しての防災啓蒙活動を行いました。



地質図パネルの展示・説明

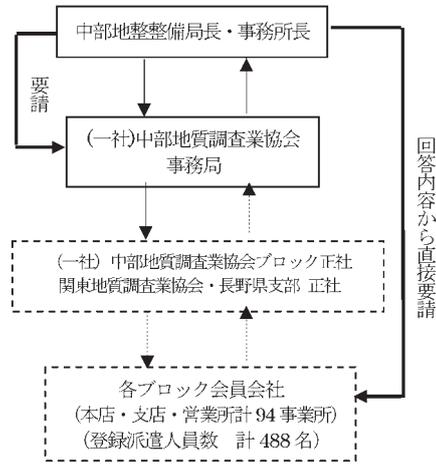
## ●地盤工学会中部支部との災害時相互協定締結協議

H30.7月上旬の西日本豪雨で、多くの被害がでた岐阜県からの要請で、地盤工学会中部支部と当協会が合同で災害調査団を結成し、被災現場の調査を行いました。今後、このような緊急災害に速やかに相互協力できる体制を整えることを目的に、H31.3.12「災害時における調査の相互協定に関する協定」を締結しました。

## ●「防災訓練(情報伝達)」の企画・実施

中部地整との災害協定を円滑に履行するために、毎年防災訓練を行っています。中部地方整備局管内で震度6弱の地震が発生し、協会事務局が被災したことを想定して9月26日に実施しました。昨年同様施設提供の協定により中部土質試験協同組合に災害応急対策本部を設置し、訓練当日は5県にまたがる登録会員94事業所に対し、PCメールで情報収集を行いました。

配下協会員に抜き打ち的に行ったにもかかわらず、回答率は80%(昨年は86%)となっており、比較的スムーズに地整側に報告できる体制が整っていることを確認しました。



災害対策本部からの情報収集状況

以上が活動報告です。

中部地整と災害協定を締結して20年を過ぎましたが、この間災害緊急時の要請に迅速に対応できるよう訓練を積み重ねてきました。

また、中部土質試験協同組合との施設提供の協定締結や、地盤工学会中部支部との災害時相互協定の締結も行い、活動を広げています。

会員におかれましては、引き続き要請時への連絡対応が確実にできるよう社内防災体制の確立に努めていただきますようお願い申し上げます。

## 編集委員会報告

### 委員長 中西 晃

平成30年度の編集委員会は、下記の11名で運営してきました

- 委員長：中西 晃(基礎地盤コンサルタンツ株)
- 副委員長：田村 浩行(応用地質株)(4月～12月)
- 副委員長：和田 昌樹(応用地質株)(1月～3月)
- 委員：片平 宏(明治コンサルタント株)
- 委員：中島 和俊(国土防災技術株)
- 委員：竹市 雅司(株東京ソイルリサーチ)
- 委員：山里 剛史(株タイム技術サービス)
- 委員：森崎 祐治(静岡コンサルタント株)
- 委員：川口恵美子(丸栄調査設計株)
- 委員：勝眞 浩一(南海カツマ株)
- 委員：小田 秀昭(株建設コンサルタントセンター)

本年度の編集委員会活動は以下の通りです。

- ①中部地質調査業協会の機関誌「土と岩」66号の発刊、配布先の検討、配布、67号の企画制作。
- ②中部地質調査業協会のホームページの管理および更新・改良(HPワーキング担当、次頁にホームページワーキンググループの活動を別途掲載)。

### ●「土と岩」67号の編集について

平成30年度は4回の委員会開催と数回のメール審議により、67号の企画・構成から執筆者の選定と原稿依頼、受領原稿の校閲、デザイン構成等を行い、発刊への準備を進めてきました。

### ●特集テーマと編集方針

今年度の初回委員会では、67号の特集のメインテーマについて議論しました。過去の編集委員会で候補案に上がっていたものを踏まえて検討を行い、近年の調査技術の進展をトピックとして紹介する事とし、出席委員がキーワードを持ち寄って議論を進めた結果、タイトルを「地質の最新技術～これからの地質調査～」として、衛星データ(リモートセンシング)、CIM(i-con)、宇宙線、地盤データベース、地質リスクのキーワードを選定しました。

内容につきましては、一般の読者にも読み通して頂けるよう、入門編的な導入から平易な語り口で執筆して頂ける方々を学協会から選び、お願いすることとしました。テーマが幅広い分野を対象としているため、統一感に若干欠ける内容になってしまいましたが、読者の皆様には、興味のある記事を拾い読みして頂き、今後の業務に生かして頂ければと考えております。

### ●特別寄稿

今年は、東海地区の大学防災・減災センターシリーズ

を継続して、豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター(CARM)を取り上げ、穂苅先生に執筆していただきました。本センターは、本誌でこれまで紹介してきました東海地域の6国立大学法人の防災センターで組織される「東海圏減災研究コンソーシアム」に参画する機関であり、産官学民の継続的協働による防災人材の育成、一般市民向けの防災教育などを通して、防災・減災力の向上を図ることで、地域で想定される被害の大幅軽減を目指しています。巨大災害への対応のあり方として、皆様の今後の業務の一助、またはきっかけになればと期待したいと思います。

### ●散文

今年の散文は、これまで協会ホームページに掲載されてきた「身近な地質スポット」が、一般の読者にも気軽に読んで頂ける内容であることから、これを再編集して載せることとしました。

誌面の関係から、これまでホームページに蓄積された記事を全て網羅することはできませんでしたので、前・後編の半分に分けて、今回は、前編を掲載させて頂きました。

### ●その他の記事等について

平成30年10月に開催した国土交通省中部地方整備局との意見交換会の内容を掲載致しました。現状の発注環境や業界の課題等について垣間見ていただけるものと思いますので、協会員のみならず、広く読者の皆様にご一読いただければと思います。

また、協会でも若手育成の一環として毎年開催しています中部ミニフォーラムでの優秀賞2編、協会活動報告として、岐阜県豪雨災害合同調査への参加と女性技術者ワーキングの報告2編をご紹介させていただくとともに、常設委員会である総務、研修、広報、技術、防災、編集の各委員会報告と、ホームページワーキングの活動報告をまとめました。

末筆ながら、お忙しい中、本誌に寄稿頂きました皆様には改めて深く感謝申し上げます。

また、本誌表紙と裏表紙背面および口絵写真は国土交通省中部地方整備局にご提供いただきました。重ねて感謝申し上げます。

今後とも皆様に興味深く愛読される機関紙づくりを目指してまいりますので、よろしく願います。

## 平成30年度のワーキングの構成

平成30年度のホームページワーキングは、以下のメンバーのほか、西川副理事長、中西編集委員長、田村編集副委員長が加わり、活動を行ってきました。なお、協会の一体感醸成、協会ホームページの認知度向上、連携強化の一環として、引き続き、静岡支部からのメンバーも参加し、活動してきました。

- 委員：宮尾 浩一(応用地質株)
- 委員：米田 英治(川崎地質株)
- 委員：津坂 喜彦(株アオイテック)
- 委員：長屋 浩輔(基礎地盤コンサルタンツ株)
- 委員：小倉 直也(東邦地水株)
- 委員：黒田 了介(株グランドリサーチ)
- : 鈴木 優\*(基礎地盤コンサルタンツ株)

\* : オブザーバー参加

## 平成30年度の活動の概要

平成30年度のホームページワーキングは、ホームページ利用者アンケートの整理・分析、年度活動計画の議論、協会・会員企業の役員交代・移転等への対応(4月~5月)から始まり、ミニフォーラム・技術フォーラム等の表彰論文の掲載等を行ってきました。利用者アンケートで寄せられたご意見、ご要望等については、ホームページに関わるものは、ワーキングの年間活動計画の参考にさせていただきました。協会の活動に対するものについては、ワーキングの意見も付して、親委員会である編集委員会を通じて役員会に報告し、各委員会等の活動の参考とすべく展開させていただきました。

年間を通した定期的な活動として、各支部活動のお知らせ、身近な地質スポット、歴史地震スポット等の追加、地質調査や協会活動にも関係深しそうな新聞情報の収集・抜粋掲載、一口メモの追加、リンク先の拡充、ホームページ不具合の解消等を、ワーキングで議論・検討しながら行ってきました。

このほか、平成30年度のトピック的な活動として、グーグルマップ有料化に伴う対応、更新情報のRSS化対応、ホームページ上のPDFファイルの別ウインドウ化などを行いました。また、機関誌「土と岩」に関して、親委員会である編集委員会への協力を行いました。

グーグルマップ有料化に伴い、ホームページで利用している地図の閲覧に不具合が発生し、利用者の皆様にご不便をお掛けしておりましたが、ワーキングでは、対応についての情報収集、役員会に対する対応提案等を行い、マップ表示の改善を行いました(12月)。

更新情報のRSS化、PDFファイルの別ウインドウ化については、利用者アンケートの要望としていただいていたものです。なお、更新情報のRSS化については、ワーキングで議論した結果、“お知らせ”にアップされた情報のRSS化対応を行いました。

以上のように、わずかな改善ですが、ホームページ利用者の利便性の向上を図ってきております。

## リンク集の拡充

ホームページ利用者アンケートでは、地形・地質調査等の基礎的なことについての情報の充実、子供向けコンテンツの希望等のご要望をいただいております。これを受け、ワーキングでは、関係事項の一口メモへの追加、リンク先の追加を行いました。以下では、追加したリンク先のいくつかについて紹介します。

### リンク先の追加①：全地連HP 資料センター

地質調査の基礎的事項情報の充実を図るため、リンクを追加しました。このサイトには、全地連が今までに作成した資料(機関誌、報告書、講習会テキスト等)が掲載されています。



### リンク先の追加②：全地連HP e-Learning

このリンク先も、地質調査の基礎的事項情報の充実を図るため、リンクを追加しました。ここには、映像で見る地質調査、ボーリング作業安全講座、関連講

座e-ラーニング形式(CPD対応)、日本ってどんな国  
YouTube映像などが掲載されております。



### リンク先の追加③：ボクたちの“足もと”から地球のことを知ろう

このリンク先は、ホームページ利用者アンケートで  
いただいていた“子供向けのページ”希望に関連して追  
加したものです。このページは、日本地質学会が、平成  
29年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育  
振興機構)の助成金交付を受けて作成したページです。



### リンク先の追加④：地質標本館

このリンク先も、ホームページ利用者アンケートで  
いただいていた“子供向けのページ”希望に関連して追  
加したものです。産総研のホームページにあるコンテ  
ンツです。

### リンク先の追加⑤：活断層データ ベース

産総研 活断層・火山研究部門によるデータベース  
です。このデータベースには、(1)日本全国の活断層  
(活動セグメント)の分布とそのパラメータ、(2)日本  
の活断層に関係する文献の書誌データ、(3)文献から  
採録された、調査地点ごとの調査結果データ、(4)地下  
数十キロメートルまでの地下構造データから構成され  
ており、起震断層・活動セグメント検索ができます。

### ホームページ利用者アンケート

平成31年3月～4月に、昨年同様、ホームページ利用  
の実態、利用者の皆様のご意見・要望等の把握等を目  
的に、アンケートを実施しています。この結果は、平  
成31年度のホームページワーキング活動において参  
考に致します。

### ご利用・ご支援のお願い

平成31年度の活動につきましても、これまで同様、  
皆様からのご意見、ご要望等を、できる限り活動に反  
映させる形で進めてまいります。皆様からの声が、私  
たちの活動の支えとなっております。

今後とも、関係者一同、より良いホームページにな  
るよう努力してまいりますので、引き続き、皆様のご  
支援・ご協力をお願い申し上げます。

